

# 令和6年度とちぎ農山漁村発イノベーション実践セミナー 第2回現地研修実施状況について

【日程】 令和6(2024)年10月22日(火)  
【会場】 momo farm 農泊施設「花園創」  
【受講者】 14名  
【テーマ】 米の利用拡大と農業体験、農泊による魅力発信  
【講師】 momo farm 農泊施設「花園創」  
代表 西岡智子(女性農業士)氏 マネージャー 西岡 桃 氏

農泊施設、農産物加工品等の直売所、炊飯用かまどの見学。その後、講義と質疑応答。最後に、稲穂のリース作りと稲刈り体験を行った。

講師は、農産物の販売だけでなく、田んぼでのイベントやSNSを通じて、農村の風景やそこに流れる時間を発信したいと考え、農泊施設の整備、農業体験の実施、米の利用拡大に取り組んでいるとのこと。

中学生等の研修旅行者が、楽しみながら、食事を作ったり田植えや稲刈りを体験してもらえることが励みになっている。一般の利用者の中には、風光明媚な農村地域をのんびりと散策し、地元の方との会話などを楽しむことを目的に来る方もいる。

来訪者の目的や期待するサービスも様々であり、それに応えられるよう日々努力しているとのことであった。



(宿泊棟)



(宿泊室)



(農産物加工品等直売所)



(講義)



(稲穂リース作り体験)



(稲刈り体験)

## 【受講者の声】

- ・蔵や納屋を活用した農泊施設等の整備、補助金の活用の話に加え、実際の現場を見学ができたので勉強になった。
- ・新たな取組を開始するには、ベースとなる農産物の生産の安定性や収益確保が重要であることを再認識した。
- ・初めて見る農泊施設、米粉のお菓子を頂きながらの講義、稲刈り体験、そして、受講者同志の会話も弾みとても楽しかった。